○鎌倉市市民活動センター指定管理者選定委員会 講評

選定委員会としては、今回の審査結果を次のとおり、講評します。

受付番号1^{※1}については、過去の運営実績から安定的な運営が見込まれ、財務・人材面にも問題は見当たりませんでした。一方で、新たな提案が見出せないこと、ICTの活用については、提案者自身が時代に追いついておらず、期待が持ちにくい点がありました。

受付番号2^{※2}については、鎌倉市が実施した「市内の市民活動団体の活動状況に関するアンケート(令和元年(2019年)12月)」を基に課題を分析・把握した上で、その課題を解決するための新しいアイデアによる面白い提案で、ICTの積極的な活用にも期待を持つことができました。一方で、提案の目線が若者からとの印象が強く感じられ、現在の登録団体の実態としては年齢層の高い団体が多く、そこへのアプローチ・支援の観点が不足していること、会社の実績・人員構成から、提案内容を実行できるかどうか不透明と感じられました。

以上の審査を経て、選考委員会では、指定管理者候補者として、受付番号1を選定しました。

なお、指定管理期間中における指定管理者としての取り組みに際しては、次の点に留意して下さい。

- 1 従来の事業を継続するという視点だけではなく、時代の流れとともに変化する利用者のニーズに沿った取り組みを積極的に提案・実施すること
- 2 「ICTの活用」については、現在の利用状況のみで考えるのではなく、若い世代が市民活動に新たに参加することを踏まえた上で、センター運営における積極的なICTの活用、登録団体へのICT支援を推進すること
- 3 運営の仕方、組織の在り方を見直し、旧態依然とした運営にならないよう留意すること

今回の審査結果を踏まえ、同法人が提案以上の成果を導き出し、鎌倉の市民活動支援をより充実したものにすることを期待します。

※1 特定非営利活動法人 鎌倉市市民活動センター運営会議

※2 株式会社 あゆみの